

## シャチ 北西太平洋

### Killer Whale, *Orcinus orca*

#### 管理・関係機関

農林水産省

#### 最近一年間の動き

日本海北部において鯨類目視調査を実施し、  
個体識別用写真を撮影した。

#### 生物学的特性

■ 寿命: 雄 50～60 歳

雌 80～90 歳

■ 成熟開始年齢: 雌 14.9 歳

雄 15.0 歳

■ 出産期・出産場所: 10 月～3 月

場所は調査中

■ 食性: いか類、硬骨魚類、軟骨魚類、海亀  
類、海鳥類、あざらし類、あしか類、鯨類

■ 捕食者: さめ類(幼獣)



#### 利用・用途

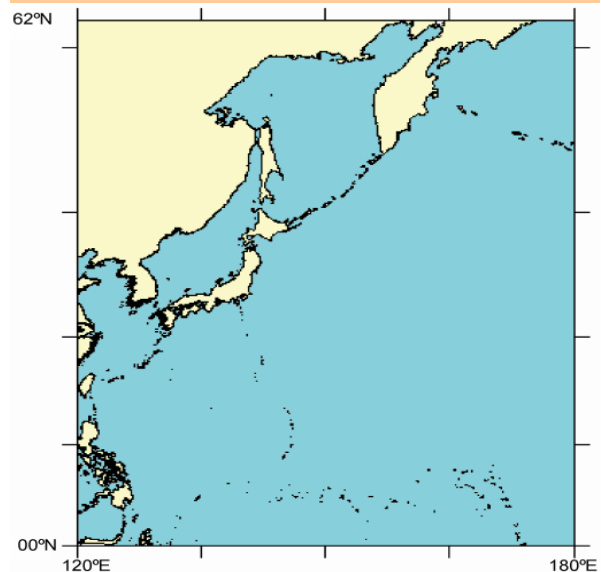
主に水族館展示。その他、刺身、鯨油など。

#### 漁業の特徴

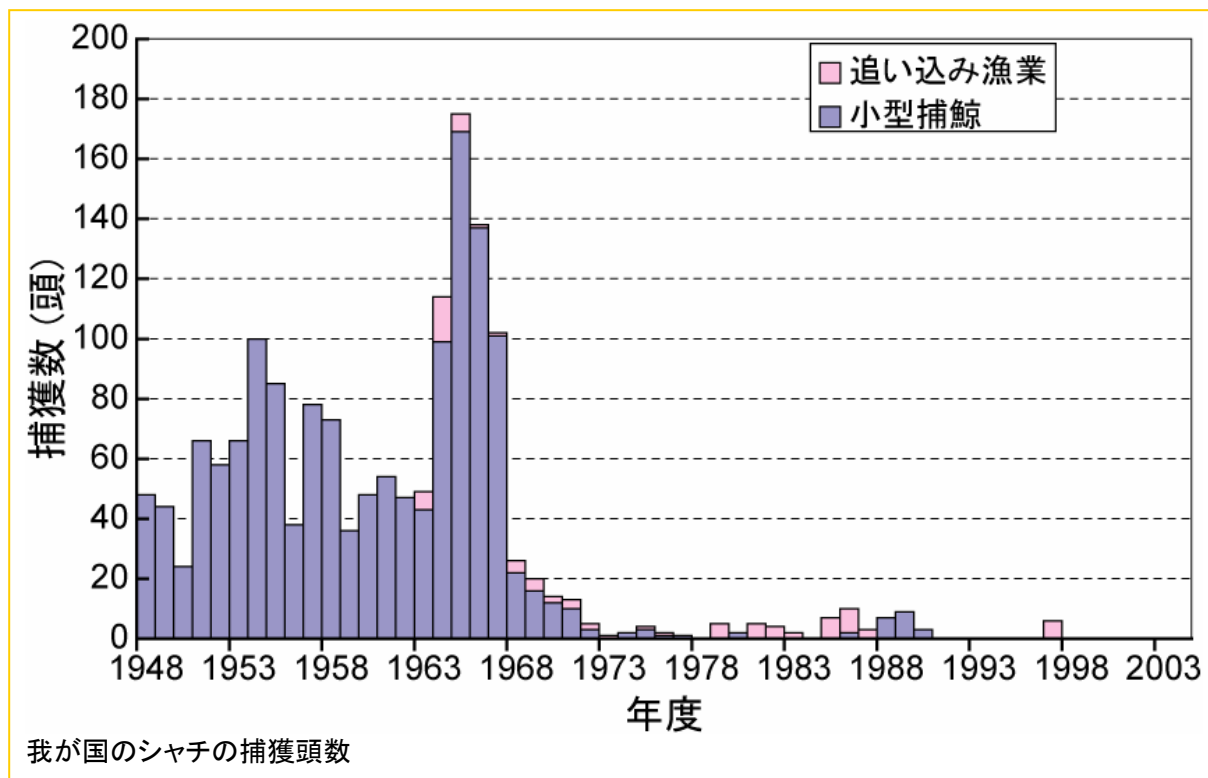
本種の捕獲は、小型捕鯨業及びいるか追い込み漁業で行なわれてきた。小型捕鯨業による捕獲は、主に房総～三陸沖(47.6%)と北海道周辺(36.9%)であった。小型捕鯨業による捕獲は、春から初夏にかけて北海道オホーツク海沿岸と道東、夏から初冬にかけて道東と三陸沖に推移していた。いるか追い込み漁業による捕獲は、和歌山県太地で行われてきて、捕獲は2月～5月に集中していた。

#### 漁獲の動向

小型捕鯨業による捕獲は、戦後 1960 年代半ばまでは年間数十頭で推移してきたが、1966 年から3年間で年間 100 頭以上を捕獲して以降、急激に少なくなり、1972 年以降は年間多くても数頭程度で推移してきた。1991 年からは小型捕業に対する本種の捕獲枠は与えられておらず、事実上捕獲が禁止されている。いるか漁業による捕獲は、1963 年以降合計 87 頭である。いるか漁業による捕獲には水族館用の生け捕りも含まれる。現在は、学術研究目的用の特別捕獲のみ認められており、1997 年にこれにより 6 頭が捕獲されている。



西部北太平洋のシャチの分布域(青で示した本海域全体に広く分布する)



### 資源状態

本種は背びれ後方の鞍状白斑や背びれの傷を手がかりにする個体識別により、生物学的パラメータの推定や個体数推定が可能である。また、目視調査による資源量推定も行われている。捕獲があった時代には、CPUE によって資源動向を見ることもできた。

西部北太平洋における本種の生息頭数は、目視調査から他種との発見比率から、太平洋側で約 1,600 頭と推定されているほか、オホーツク海では 721 頭と推定されている。北西太平洋における本種系統群の情報は全くないが、米国側の情報から類推すると複数の系統群があることは十分予想される。

### 管理方策

現在、学術目的以外の捕獲は禁止されている。

### 資源評価まとめ

- 個体識別により生物学的パラメータ推定と個体数を推定
- 目視調査により資源量を推定
- 生息頭数は太平洋側で 1,600 頭、オホーツク海で 721 頭と推定

### 資源管理方策まとめ

- 学術目的以外の捕獲は禁止。

### シャチ(北西太平洋)資源の現況(要約表)

資源水準	調査中
資源動向	増加
世界の漁獲量 (最近5年)	調査中(ロシアが水族館用に数頭捕獲したとの情報がある)
我が国の漁獲量 (最近5年)	0 頭